

パリの本

がおすすめする

の紹介



なぜ男は暴力を選ぶのか
トランスジェンティックバイオレンス
理解の初歩

著者 沼崎一郎
●かもがわ出版

DVの暴力とは加害者が自分の衝動を抑えきれずに爆発させてしまうことではなく、配偶者や恋人など、相手を支配するために自らが暴力を選んでいる。この考えがDV理解の初歩であり、加害者の実像を知ることこそがDV対策の第一歩であると思います。

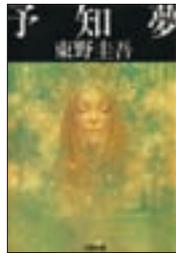
暴力をふるう本当の理由とは何か？男性にも読んでいただきたい本です。



オタクで女の子な
国のモノづくり

著者 川口盛之助
●講談社

私たちは普段、差別に気づかずに思い込みで判断しているということがとても多いようです。著書の中にも「女の子っぽい特殊な文化」などと、よく考えてみると、女の子っぽいって何？と思える表現が出てきます。そんな日本のモノづくりに「他者を受容し協調する」という能力が加われば、日本の社会はもっと強くなれそうです。



予知夢

著者 東野圭吾
●文藝春秋

現代の奇妙な事件に手を焼く警視庁捜査一課の草薙刑事が、友人の天才物理学者湯川の協力を得て、次々と事件を解決していきます。ドラマで実写化されたことでも有名な「ガリレオ」の原作本です。

ドラマの主人公とはまた違ったタイプの湯川を楽しめる、ミステリーとしても刺激のある作品です。



パパの料理を紹介しようと思ったとき、真っ先に浮かんだのがフレンチトーストでした。と語る田崎吉則さん。シングルファザーをテーマにした映画『グレイマー・クレイマー』で、父親役のダスティン・ Hoffmanが息子の朝食にフレンチトーストを作っておあげるシーンが印象に残っていて、自分でも作るようになったとのこと。長男



下ごしらえをお手伝い。おいしくできますように

料理指南

男の

10

フレンチトースト

料理は楽しんでできる
男々共同参画の第一歩



こんがり感はお好みで



旬のフルーツを選ぶ楽しさも。お皿の上の彩りも味わいのひとつ

砂糖……大さじ1
卵……2個

◆フレンチトースト

食パン（8枚切りを使用）……4枚
「今回のフレンチトーストは手軽な材料で素早くできるので、初心者にもおすすめ。お子さんと果物の飾りつけをするなど、親子で楽しみながら作ってみてください」

の州さん（10歳）、長女の律名さん（7歳）も大好きで、パパが作る田崎家の日曜の朝食の定番メニューだそうです。イクメンが注目されている昨今、単なるスタイルではなく、地域に溶け込み、子育てを楽しみたいと、田崎さんは地域で知り合った父親たちと『西東京市パバクラブ』を結成。料理も子育てを楽しむ方法の一つ。

- 牛乳……150cc
サララ油……大さじ2（3枚目以降は追加で大さじ1追加）
バター……大さじ3〜4
メイプルシロップ……適宜
つけあわせのフルーツ……適宜
- 【作り方】
① パットに卵と砂糖と牛乳を混ぜて、食パンを浸す。
② フライパンを温め、浸した食パンを焼く。
③ いい色に焼いたら、ひっくり返して、両面とも焼く。
④ バターをのせ、メイプルシロップを適量かけたらできあがり。
⑤ お好みでいろいろなフルーツを添えると、豪華な感じになります。
（※レシピ提供：パバ料理研究家 滝村雅晴）

